

事例（水道橋 久さん）本人を知るための地図

★私は、今までこんな生活をしてきました。生き方を
してきました。

★私は今このような環境で生活をしています。

★私の不安や気にしていること、困り事は〇〇です。

★私が今、希望する暮らし、願いは〇〇です

★私の将来の夢・希望、暮らしは〇〇です



水道橋久さんの強み（ストレングス）の整理

※できるだけ多く、箇条書きで記入する※

【性格・人柄／個人的特性（正直、話し好き、繊細等）】

【技能、才能（できること、得意なこと、スキル等）】

【興味・関心・願望（本人が関心を持っていること、学びたいこと、モチベーションとなること等）】

【ご本人を取り巻く「環境面」で、ご本人のストレングスを強めるもの。友人がいる。親が協力的である。習い事をしてる、住まいがある、支援者がいる等）】

事例（水道橋 久さん）の 100 文字アセスメント



私（水道橋久）は・・・

（ 字）

※100 文字アセスメントについて

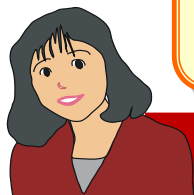
目的	・ 個別支援計画を作成する際、大切な事の 1 つとして「本人主体、本人目線」があります。 - しかし、作成をしていく段階で、知らぬ間に支援者目線や支援者主体となったり、課題克服の計画になってしまうことが起こり得ます。それを防ぐ方法として 100 文字アセスメントがあります。
活用方法	・ ご本人の想いや核心を捉え、支援の軸（本質）を定めることにつながります。 ・ ニーズ整理や個別支援計画を作成する際に迷ってしまった時には、100 文字アセスメントに立ち返り考えてみます。
留意点	・ ご本人の解決したい課題・困りごと等の「思い」を本人の視点で 100 文字程に要約、アセスメントします。 ・ 主語は「私」「僕」「俺」等で始めます。 ・ アセスメントから知り得た情報（思い、夢、ストレングス、困りごと等）をご本人の言葉をそのまま使って作成します。 ※作成時に、本人の言葉を容易に変換してしまうと、その意味合いや思いまで変わってしまうため、本人の言葉はそのまま使います。

注意：以下は、**書き方の例**であり、**事前課題の事例のものではありません**。

（平成 30 年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修の資料より抜粋）

例① ぼくは、入院して 10 年目。日常家事はうまくできないけれど、退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートで一人暮らししたい。でも保証人もいないし……。それにどんな一人暮らしになるのかな？（108 字。精神障害、統合失調症のある方）

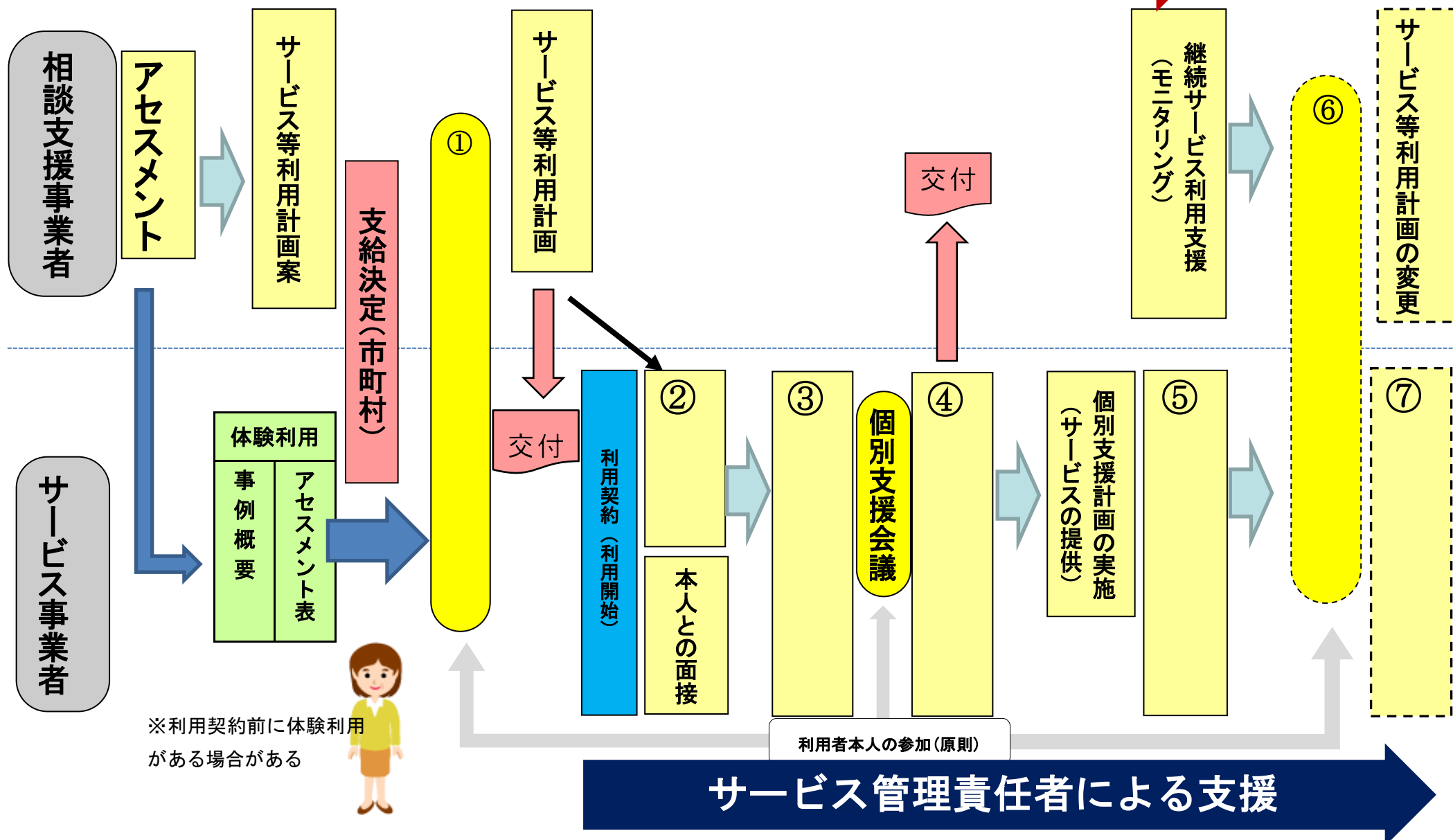
例② 私は、病院や施設に入らずに自宅で介助者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配。だれか私を介助してくれる人が来てくれないかしら……。 (87 字。身体障害、肢体不自由のある方)



相談支援専門員とサービス管理責任者の連携

事前課題②

相談支援専門員による支援



コース： 受講者番号： 氏名：

事前課題③

サービス管理責任者の視点

講義5「個別支援計画作成のポイントと作成手順」を復習し、講義で取り上げられたサービス提供のプロセスの場面ごとに、サービス管理責任者として留意すべき視点を記入してください。

サービス提供のプロセス	サービス管理責任者の視点
相談支援時の状況把握	
アセスメント(初期状態の把握)	
アセスメント(基本ニーズの把握)	
アセスメント(課題の整理)	
個別支援計画の作成	
個別支援計画の実施	
モニタリング(個別支援計画の評価)	
個別支援計画の修正	